



陶芸の手びねり体験は2300円。要予約

五感で楽しむ自然とアート

金津創作の森

●かなづそうさくのもり

広大な森の中にある美術館。企画展などを開催する美術館アートコアをはじめ、ガラスや陶芸、竹細工といった創作体験ができる工房、個性的な野外作品、アーティストのアトリエが森に点在し、豊かな自然とともにアートを満喫できる。レストランもあり、1日たっぷり楽しめそう。

☎ 0776-73-7800
住 あわら市宮谷57-2-19
料 入場無料(企画展は有料)
時 9時～17時(施設により異なる)
休 月曜(祝日の場合は翌平日)
P 200台



四季折々に表情豊かな森が広がる

2023年4月22日OPEN

道の駅 蓮如の里あわら



あわら市北部エリアの観光拠点に

蓮如の里に新しくオープンする道の駅。地元フルーツやサツマイモを使うパフェやパイ、地鶏や北潟湖のウナギなど、地物食材メニューが自慢。

住 あわら市吉崎 P 66台

魯迅の留学時代や 巖九郎の人となりを知る

藤野巖九郎記念館

●ふじのげんくろうきねんかん

藤野巖九郎は旧下番村(現あわら市)の出身。巖九郎は医学者であり、中国の文豪・魯迅の留学時代の恩師でもあった。記念館は、医師として診療にあたっていた彼の旧宅を移築したもので、資料館を併設。当時の医療器具や遺品を展示している。

☎ 0776-77-1030
住 あわら市温泉1-203
料 入館210円 時 9時～18時
休 火曜(祝日の場合は翌日)
P 15台



昭和初期に建てられた
木造二階建ての家屋



記念館の外には藤野巖九郎と魯迅の銅像が立つ

蓮如さんが築いた 浄土真宗の聖地

吉崎御坊跡

●よしざきごぼうあと

真宗本願寺派復興の祖、蓮如が北陸での布教の拠点とした地が吉崎で、石碑が立つ吉崎御坊跡は国指定史跡。周辺は蓮如の里と呼ばれ、吉崎東別院や西別院のほか、蓮如上人記念館や越前加賀県境の館など見どころが点在。

☎ 0776-73-5158(あわら市郷土資料館)
住 あわら市吉崎



昭和9年(1934)に完成した蓮如上人の銅像

北 陸新幹線の敦賀延伸について2024年春開通を目指し工事が進められており、それに向けて芦原温泉駅の工事も急ピッチ。駅前開発も進んでいます。ともあれ、あわら市といえばやはり温泉が有名です。明治16年(1883)、水田に灌漑用の井戸を掘っていた際に温泉が湧き出したことをきっかけに、温泉街が形成されました。あわら温泉には多くの源泉があり、その数なんと74本。各旅館が自家掘り源泉を持ち、泉質や温度も異なります。あわら湯のまち駅前にあるあわら温泉芦湯には2種類の源泉を引いているので、その違いを堪能していきましょう。

あわら温泉周辺には藤野巖九郎記念館やあわら郷土歴史館などの見学施設がありますが、足を延ばして金津創作の森でアート三昧や、蓮如の里で吉崎御坊跡めぐりと新しくできた道の駅蓮如の里に立ち寄るのもいいでしょう。また、6月上旬からは北潟湖畔花菖蒲園が見頃になります。グルメを楽しみたい人に案内したいのは芦原温泉駅周辺だとさくらがおすすすめ。あわら温泉街ではそばの名店福乃家、そしてゆけむり珈琲店で美味しい珈琲をテイクアウト。

最近話題のお洒落なキャンプを楽しむなら十楽の森へ。サウナ付きのキャビンなど設備が充実し、初心者も安心です。



昭和51年に開園した花菖蒲園。一面に咲き誇りみごとえあり

風光明媚な湖畔を彩る 色とりどりの花菖蒲

北潟湖畔花菖蒲園

●きたがたこはんはなしょうぶえん

福井県あわら市から石川県の県境にかけて広がる北潟湖。その一角に全国でも有数の花菖蒲園があり、6月上旬から約300種20万本もの花菖蒲が咲き乱れ見事な風景に。6月中旬の満開時には、花菖蒲まつりのイベントも開催される。

☎ 0776-73-8029(あわら市観光振興課)
住 あわら市北潟211 料 時 休 入園自由 P 200台



花菖蒲の株ほか、地元特産のメロンやスイカ、天然ウナギの販売もある

北陸最大規模の温泉足湯

あわら温泉 芦湯

●あわらおんせん あしゆ

えちぜん鉄道あわら湯のまち駅の前にある足湯。総ヒノキ造りの建物はステンドグラスをあしらった大正ロマン風で、温泉情緒たっぷり。浴槽は舟型やテーブル付きなど全部で5つあり、地下90mから湧き出す温泉がじっくりと足を温めてくれる。

☎ 0776-78-6767(あわら市観光協会)
住 あわら市温泉1-203
あわら温泉湯のまち広場内
料 無料
時 7時～23時
休 無休
P あわら湯のまち駅前駐車場利用15台



建物の中は広々。タオルの販売300円もある



数寄屋風の建物は、夜になるとライトアップも

ミニ旅案内⑤ 北陸の市町村

あ

わ

ら

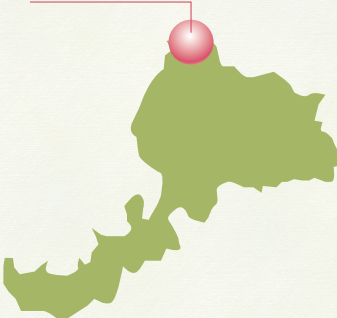
市

北陸新幹線の開業を控え賑わいの湯のまちへと

あわら市DATA

人口:26,837人
面積:116.98km²
市の花:花菖蒲
市の木:梅
市の鳥:シラサギ
※あわら市HPより令和5年2月1日現在

あわら市



※掲載の情報は取材時のものです。新型コロナの状況により、紹介内容と異なる場合もあります。お出かけの際はあらかじめご確認ください。※ご紹介記事の休日は、GW・夏期・年末・年始・冬期等を省略しています。また、入館料は大人1名の料金のみ記載していますのでご了承ください。

和モダンな宿に生まれ
変わった老舗宿

光風湯圃 べにや

●こうふうゆでん べにや

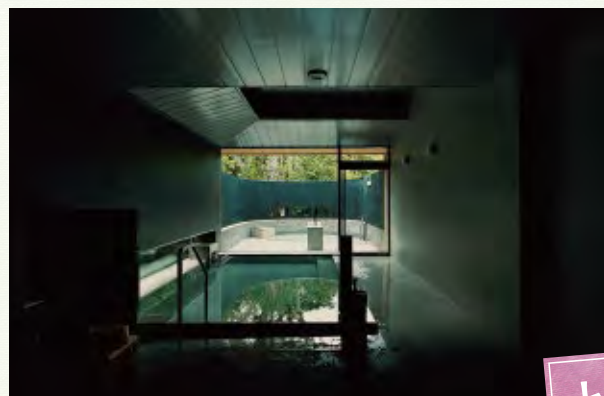
2021年7月、リニューアルオープンした老舗旅館のべにや。創業は明治17年(1884)だが、2018年に火災で全焼。全国のべにやファンに励まされ、無事再開にこぎ着けた。以前の建物は国登録有形文化財だったが、現在の建物も純和風造りで日本情緒たっぷり。

☎ 0776-77-2333
住 あわら市温泉4-510
料 1泊2食付き4万6200円～
時 IN15時/OUT11時
P 20台

17ある客室はすべて緑を望み、半露天風呂が付いている



朝・タとも部屋でいただく。魚も肉も野菜も旬を楽しめる



自家掘り源泉を4本もつため湯量も豊富な大浴場



越前焼や鯖江の河田塗の器を使う料理も楽しみ



温泉街の中心に位置する和風宿。明治17年(1884)の創業だ

あわらを代表する老舗の名旅館

越前あわら温泉 つるや

●えちぜんあわらおんせん つるや

木造建築の2階建てで、客室が1室ずつ造りが異なるというつるや。地元食材でつくる創作懐石料理に定評があり、食通のリピーターも多い。派手さは決してなく、静かに寛げる大人の宿として人気が高い。

☎ 0776-77-2001 住 あわら市温泉4-601 料 1泊2食付き2万7500円～
時 IN15時/OUT11時 P 50台



自家源泉かけ流しの大浴場

あわら温泉でおこもりステイ
とっておきの宿

1日10組限定の多機能キャンプサイト

十楽の森 ●じゅうらくのもり

2022年3月にオープンしたアウトドアエリア。サウナ付きのキャビンやグランピングサイト、ドッグラン、たき火、バーベキューサイトなど、目的に応じてさまざまな使い方ができる森のキャンプ場。手ぶらでも利用ができ、初心者にも好まれている。

☎ 090-8098-8042 住 あわら市十楽60-3
料 グランピング・おまかせキャンプは1人1万円～
時 9時～16時(ランチ11時～15時)
休 キャンプは無休、ドッグランは水・木、カフェは土・日曜、祝日営業 P 25台



手ぶらでキャンプは4名で3万6000円～。土・日曜、祝日は焚き火カフェも営業



バーベキューは人数・予算に応じて1人4500円～



キャンプサイト1張2500円～



そばと丼がセットになった海老天あわせ1400円

そばと大根の風味が広がる

福乃家 ●ふくのや

昭和3年(1928)創業の老舗そば屋。香り豊かな福井県産そば粉を使った二八そばに、辛味大根のしぼり汁が入っただしをかけて食べるのが福乃家流。風味と喉ごしが抜群だ。地酒も揃えており、地元野菜を使った天ぷら盛合せ1000円など一品料理とともに楽しむのもおすすめ。

☎ 0776-77-2075
住 あわら市温泉5-303
時 11時30分～18時
(そばがなくなり次第閉店)
休 水曜 P 2台



店の前に飾られた越前鬼瓦が目印



刺身や小鉢も付いて満足、さくらランチ1450円



カウンター席とテーブル席がある店内

魚屋さんが営むランチ&居酒屋

さくら ●さくら

魚屋と仕出し料理の「若桜」が営むカフェ&バル。昼はランチメニューが2種あり、2段重ねの重に盛り付けるさくらAランチと手頃なさくらBランチ1100円。どちらも若桜名物、白身魚フライが付いてボリュームも満点。

☎ 0776-73-0151
住 あわら市春宮1-9-37
時 12時～14時、18時～22時
休 水曜(ランチは平日限定)
P なし



JR芦原温泉駅からも近い

スペシャルティコーヒーでひと息

ゆけむり珈琲店

コーヒー好きな方におすすめしたい1軒。吟味したスペシャルティコーヒーの生豆を仕入れ、こだわりのローストが自慢。豆の販売はもちろん、コーヒースイーツも人気だ。

☎ 0776-65-4632 住 あわら市二面34-38-1 シャルマンハウス102
時 9時～17時 休 火曜 P 4台



パンダのイラストが目印の販売ショップ



テイクアウトのコーヒー(ホット・アイス)500円